

- 協議完了時
- 変更時
- 工事完了時

建築物の名称 (仮称)PMO神保町

建物用途 建築物の所在地	事務所 東京都千代田区神田神保町2-10-4,11,35	敷地面積 建築面積 延床面積	974.42 m <sup>2</sup> 576.26 m <sup>2</sup> 5,457.62 m <sup>2</sup> : 計算対象 5,135.27 m <sup>2</sup>
地域 竣工日	神保町地域 2022年5月7日	階数 構造	地上 11階 地下 0階 その他(CFT造)

省CO2効果

削減率  
**22.0 %**

優良環境建築



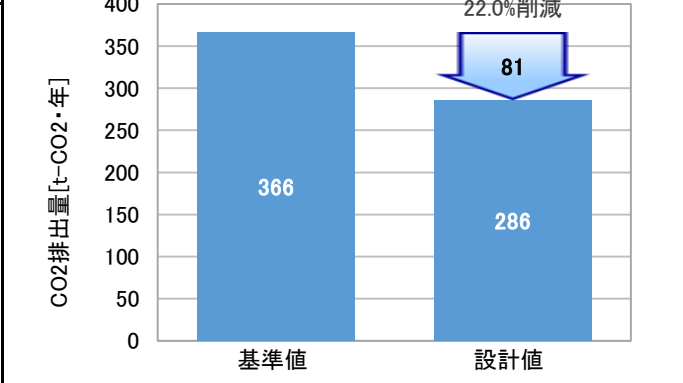
省エネルギー基準

基準一次エネルギー消費量	7,475.6 [GJ/年]
設計一次エネルギー消費量	5,830.9 [GJ/年]
BEI(設計値/基準値)	0.78

CO2排出量

基準値	366 [t-CO <sub>2</sub> ・年]
設計値	286 [t-CO <sub>2</sub> ・年]
削減量	81 [t-CO <sub>2</sub> ・年]
削減率	22.0 %

省CO2対策の概要  
機械警備運動により不在時は空調を止め、人感センサー付きのLED照明で省CO2を図った。



省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機
- 変流量制御(INV)
- 大温度差送水
- 変風量制御(空調)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 変風量制御(換気)
- 送風量制御
- LED照明 (範囲:全館)
- 人感センサ (範囲:喫煙所、便所、パントリー、SK、ゴミ置き場)
- 明るさセンサ (範囲:事務室)
- スケジュール制御
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- BEMS
- その他 (機械警備と連動し、不在時は空調および照明をOFFにする。)

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
  - 複層ガラス
  - 庇・ルーバー・バルコニー
  - 外壁高断熱化
- 面的エネルギー活用
- 地域冷暖房を導入
  - 地域冷暖房を将来導入
  - 既存地域冷暖房から受入
  - サプラントを設置
  - 特定電気事業者等を導入
  - 特定電気事業者等を将来導入
  - 特定電気事業者等を受入
  - 熱融通
  - 電力融通
  - 面的対策その他
  - エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

非常時の対応

- 非常用発電機(消防設備用以外)
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- バイオマス
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮